

# 札幌商工会議所における DX 推進について

実務執行統括責任者：事務局長 石本茂史

更新日：2026 年 2 月 2 日

## 取り巻く環境変化と DX 推進の必要性

近年、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、かつてないスピードで変化しています。人口減少や人手不足、事業承継の課題、急速な技術進展、地域間競争の激化、これらは一過性の変化ではなく、地域経済の構造そのものに影響を与えるものです。多くの会員企業が、日々の事業を懸命に続けながらも、急速な変化への対応という課題を抱えています。

こうした時代において、札幌商工会議所の DX 推進は、単なる業務効率化や IT 導入ではなく、「デジタルの力で札幌の産業と地域社会を未来へつなぐ」挑戦そのものです。人手不足という構造的課題に向き合い、企業が持続的に価値を生み出し続けるための挑戦に対して、地域の経済団体として真正面から向き合う必要があると考えています。

## DX 推進にける想いと背景

札幌商工会議所は、これまで長年にわたり、地域の中小企業・小規模事業者に寄り添い、販路開拓や挑戦を後押ししてきました。しかし、時代が変われば支援のあり方も変わらなければなりません。従来の支援だけでは、企業が直面する課題の本質に答えきれなくなっている。その危機感が私たちの DX 推進の原点です。

DX 支援とは、企業のデジタル化を促すことだけではありません。経営者自らがデジタル技術を活かした未来を描き、戦略を立て、実行に踏み出すための土台を整えることです。まずは支援機関である私たち自身が、その姿勢を体現しなければ、企業に本気で向き合うことはできません。この DX 推進は、札幌商工会議所自身が変わるための取り組みでもあります。

## DX ビジョンと価値創造ストーリー

私たちが目指す DX の姿は、会員企業が自らの強みと可能性を再発見し、次の成長へ踏み出す循環をつくることです。企業がデジタル技術を活用することで、

- どのような価値を提供したいのか
- 誰のために存在するのか
- そのために何を变えるのか

こうした問いに向き合い、伴走しながら企業変革を支援します。

札幌商工会議所は、DX を「特別な企業だけのもの」にせず、自らが取り組むことで「自分ごととして考えられるもの」にしていきたいと考えています。合わせて商工会議所の事業モデルやサービスを変革し、会員企業との信頼関係を深め、新たな価値提供を実現していきます。

## DX 推進の発信とステークホルダー皆さまへのコミットメント

札幌商工会議所は、DX 推進にあたり、試行錯誤の過程や失敗、成果などを包み隠さず発信していきます。うまくいったことだけでなく、失敗を含めた事例を積極的に発信し、地域の DX 推進における支援機関としての役割を果たしていきます。私たちは、自らの DX を体現しながら、会員企業の伴走する立場であり続けることを約束します。

## DX 推進と未来への展望

札幌商工会議所の DX 推進は、札幌がこれからも「選ばれるまち」であり続けるための出発点です。企業の経営力と札幌の魅力を高め、地域の中小企業の皆さまや行政・各支援機関と共創し、地域の成長と新たな価値創造を実現していきます。

札幌商工会議所は、これからも会員企業の皆さまとともに、次世代に選ばれるまちを育てる推進役として、世代を超えて選ばれ続ける札幌をつくります。

※2026 年 4 月 1 日補記：札幌商工会議所の代表は会頭 安田光春であるが、当所会員事業者を代表する立場である。

当所 DX 推進については、当所が雇用する職員で構成される事務局体制に関する取り組みであるため、事務局 DX 推進における決裁権及び経営者と同等の権限・責任を有する事務局長 石本茂史を実務執行統括責任者としている